

国際交流員(バム)が紹介する 「面白い！タイの文化」



言葉について① 「タイで使われている日本語」

これらの言葉はタイで広く知られています。

でも、元々の意味と異なる使い方をされている言葉も多くあります。

① おし、らーめん、てんぷら・・・などの料理名

日本料理はタイでもとても人気です。料理名は日本語のまま呼ぶことが多いです。お好み焼きのことを「日本のピザ」というような、変わった呼び方をするものもあります。



② どうぞ

「どうぞ」はタイ人なら、だれもが知っているスナック菓子の名前です。残念ながら、「どうぞ」の本当の意味を知っている人はあまりいません。



③ こども

「Kodomo」はタイでは子供向けのブランドとして知られています。特に、ベビーパウダー、ボディークリーム、シャンプー、歯磨き粉がとても有名です。これのおかげで、日本語を勉強したとき、「子供」という言葉をすぐ覚えられました。



④ セマクテ (เตะくて)

「セマクテ」は少し古いですが、有名なギャグです。実は「セマクテ」はタイ語で「ふらふらして寄ってきたら、蹴るぞ!」という意味があります。それで、笑いをとるために日本語を知っているかのようにふざけて言います。



⑤ シンメチョウダイ

「シンメチョウダイ」は10年くらい前の緑茶のCMに出た言葉です。CMで青虫が「新芽ちょうだい、新芽ちょうだい」と連呼しました。私はまだ日本語が分かりませんでした。意味が分からないまま、「新芽ちょうだい」という言葉が頭に残っていました。その年、これが流行語になって、歌までできました。その歌は「シンメチョウダイ、シンメチョウダイ、シンメチョウダイ、あなたのハートをちょうだい♪」という歌詞で、タイで大ヒットしました。



今週のタイ語： ญี่ปุ่น 「イーブン」 = 日本
ภาษาญี่ปุ่น 「パーサー・イーブン」 = 日本語